



ペットフードを選択する

大型犬用ドッグフードを選ぶ理由



どの犬にも固有の栄養要件があり、食餌によってそのニーズを満たす必要があります。

大型犬（成犬で 25～45 kg [55～100 ポンド]）や超大型犬（成犬で 45 kg 超 [100 ポンド超]）の場合、大型犬用に特別に調製されたドッグフードを検討すべきです。大型犬用のドッグフードを選ぶ際には、いくつか考慮すべきことがあります。

大型犬には、小型犬よりもカロリー密度の低いフードが必要です。

直感に反しているように思えるかもしれませんが、大型犬や超大型犬には、超小型犬・小型犬用に調製されたフードよりもカロリー密度が低いドッグフードが必要です。大型犬は代謝速度が比較的遅いため、小型犬や超小型犬に比べて、体重 1 kg（ポンド）あたりのカロリー必要量は少なくなります。また、大型犬や超大型犬は胃が大きいいため、満腹になるには大量のフードが必要です。大型犬用に特別に調製されたフードは、大型犬の理想体型（Purina ボディコンディションスコアの 9 段階評価で 4～5）を維持できるように、低カロリー・低脂質になる傾向があります。

体重の増え過ぎ防止には、給餌量を計量することが有効です。

肥満は、大型犬や超大型犬に限らず、あらゆるサイズの犬でよく起こる問題です。一部の大型犬種は、過体重になりやすいことがよく知られています。過体重は、大型犬や超大型犬にとって、関節に余計なストレスを与える、後年に変形性関節症のリスクが大きくなるなど、重篤な健康問題につながる可能性があります。フードやおやつ¹の量・重さを注意深く計量し、ペットの体型を定期的にチェックすることで、ペットの食べ過ぎを防止できます。すべての犬は個体によって固有のカロリー必要量が異なります。そのため、犬の理想体重を維持するには、給餌量を調整することが重要です。

大型犬には、関節の健康をサポートする栄養素が必要です。

大型犬や超大型犬は関節に問題が生じやすい傾向があり、大型犬用に特に調製されたフードが有益な理由はそこにあります。大型犬用のフードには、魚油に含まれるオメガ 3 脂肪酸や、肉・鶏肉の成分に由来するグルコサミンなど、関節の健康をサポートする成分が含まれています。オメガ 3 脂肪酸は、炎症（特に関節）の管理に役立つ可能性があり、大型犬が快適に活動できるように働きます。

大型犬・超大型犬固有の栄養要件をすべて満たすドッグフードを見つけることは、ペットが健康で長生きできるようにサポートする第一歩です。愛犬の栄養に関して不明な点や心配ごとがある場合は、必ずかかりつけの獣医にご相談ください。

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。